JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY JIU
城西国際大学Sports
発行者:〒283-8555 千葉県東金市求名1番地　城西国際大学
新入生歓迎特別号
2018年4月 vol.4

「全国」目指す〝JIU野球〟

爛漫の春。選手の汗まみれの額がきらめく。キャンパスに行き交う新入生の顔も輝いて見える。勉学・スポーツに励み、広く世界と地域と交流を深める。ＪＩＵは、そうした若者が集う場所だ。あなたも応援団の一員となって、飛翔しようとしているアスリートたちに熱い声援を送ってほしい。

「スポーツにエールを」

上原 明
理事長

昨年9月に理事長に就任しました。よろしくお願いいたします。城西・城西国際大学の一員として各運動部の活躍を楽しみにしております。

来年、日本で第9回ラグビーワールドカップが開かれます。アジア初の開催です。大正製薬は、この大会の国内オフィシャルスポンサーです。企業・製品のイメージがラグビーと合っている、ということで支援することになりました。

わたし自身もラグビーが好きで、中学校から始めました。演劇にも親しんでいたので、そちらにも興味があり、大学では、運動部ではなく、ラグビー同好会に入りました。米国に留学する3年生までは、フォワード（プロップ）の選手としてプレーし、東京6大学の同好会リーグ戦に参加しました。多摩川の河川敷で週5日練習し、普平などで合宿を行いました。

2001年に日本ラグビーのナショナルチームのスポンサーになりましたが、これは知人の日本協会の故宿沢広朗さんに「日本ラグビーを強くしたいのでご協力を」と頼まれたからです。宿沢さんは、日本代表監督、強化委員長などを歴任された方です。これがご縁で、ラグビー、スポーツと切り離せられなくなりました。

経験からですが、スポーツと商売は、似ていると思います。「商売は戦い。勝つことのみが善」が我が社の社是です。これは、厳格なルールの中で戦う、強豪に勝つために考え、工夫し、実践する、という意味です。野球、サッカーなどでも一流選手になるためには、ただ言われたことを、指示されたことをやるだけでは通用しません。野球のイチロー選手は、すごい投手の前に三振を喫するとき、その投手との出会いにより「自分の至らなさ」を知ったことに感謝し更に研究を重ねて、また立ち向かいます。才能だけでプレーしているのではありません。大学スポーツでも見習せば身近なところに優秀な、成功している選手がいると思います。まず、その選手がいかに工夫し、努力しているかを知り、それを目標に実践することです。

本学は「学問による人間形成」を建学の精神にしています。この精神は「学問」だけに限ったことではありません。スポーツであれ音楽であれ、同じです。自分の関心あることに本当に夢中になること、打ち込むことが重要で、得られるものは多いはずです。

新入生の皆様、人から言われることだけではなく、創意工夫を重ねてよりよい大学生活を送ってください。

【略歴】
1941年4月生まれ、東京都出身。1966年 慶應義塾大学経済学部卒、日本電気入社。1977年 大正製薬入社、1982年代表取締役社長、2011年 大正製薬ホールディングス代表取締役社長（現任）
▼団体役員など――日本大衆薬工業協会会長（1997年5月～2001年4月）、世界大衆薬協会会長（1999年6月～2002年11月）、上原記念生命科学財団　理事長（2013年5月30日～）
▼大学関係――城西大学評議員・理事（1979年1月～）・理事長（2017年9月～）、成蹊学園評議員（1988年3月～）・評議員会議長（2002年3月～2012年3月）・理事（1998年3月～）、慶應義塾評議員（1990年11月～）・理事（2006年11月～）

ご入学おめでとうございます

杉林 堅次
学長

新入生のみなさん、ご父母のみなさん、ご入学おめでとうございます。この春の佳き日に、胸を張って城西国際大学のキャンパスに入られたみなさんが、本学での学びを通して夢を実現できるよう、教職員一同全力でサポートして参ります。

大学は、教室などでの講義ももちろん大切ですが、単に知識や技能を得るだけの場所ではありません。大勢の学生が集い、学生個々が様々なアクティビティに参加し、そこで得た経験や絆を深めることもキャンパスライフにおける重要な学びになります。また、これこそが人間形成を建学の精神に掲げる本学のキャンパスで学ぶ学生の在り方だと考えます。

みなさん、本学の学びとともに、各運動部・文化部の活動に参加し、学生生活を盛り上げていきましょう。

180人の大所帯　目標は日本一

硬式野球部

「甲子園出場校」出身者多数

現在、部員は、マネージャー、学生コーチらを含め、180人の大世帯。今春、女子マネージャーを含め30人の新入生が入部した。〝JIU野球〟に魅かれ、北海道から沖縄まで全国各地から集まった。部員の出身高校をみると、天理、花咲徳栄、木更津総合、作新学院など「甲子園出場校」が目立つ。

チームを率いる佐藤清監督は、奈良・天理高校、早稲田大学、日本生命のチームでスラッガーとして活躍し、2007年にJIUの硬式野球部の指導者となった。以来、千葉県大学野球秋季リーグ戦3度優勝、春季は2年前に初優勝を成し遂げ、1992年の創部以来、全日本大学野球選手権大会も初めての出場となった。

今春も2月15日から12日間、大分で合宿を組んだ。主力投手は、武笠達也（4年・花咲徳栄）、中島隼也（2年・仙台育英）、宮崎一希（2年・瀧修館）らで神取凛平（4年・花咲徳栄）、梅田裕斗（3年・長崎日大）らとバッテリーを組む。打撃陣は主将の湯浅翔太（4年・花咲徳栄）、福山龍旺（2年・仙台育英）、八木佑馬（3年・習志野）らが控える。

チームの目標は、やはり全日本大学野球選手権に出場し、日本一を目指すことだ。春季リーグが間もなく始まる。東金キャンパスに近い水田記念球場が、練習拠点だ。佐藤監督は「ここ最近、千葉県内の大学野球のレベルが上がり、組織的に戦うようになった。昨年の全日本選手権で2位となった国際武道大をはじめライバル校も増えたが、有力新人も入り、ぜひ春季も秋季も『全国』を目指したい」と話す。

湯浅主将も「昨年は、春季も秋季も国際武道大に負けている。屈辱を果たし、千葉県リーグで優勝したい」と意気込む。（中面JIU関連記事）

湯浅翔太 主将

佐藤 清 監督

■プロフィール
部　長：七井誠一郎
監　督：佐藤　清
コーチ：田中成明
　　笹川慎吾
主　将：湯浅翔太（花咲徳栄）

記者募集

記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験が長い職員が取材、書き方を基本から指導します。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生も募集しています。

連絡はこちらまで ▶03・6238・1241
学校法人城西大学法人本部
広報センター

JUから①〝レジェンド〟女子駅伝部コーチ就任

北京五輪代表の赤羽有紀子さん 監督に夫の周平氏

2008年の北京五輪女子5000㍍、1万㍍代表の赤羽有紀子さん（38）が、4月1日付で母校・城西大学の女子駅伝部アドバイザー兼コーチに就任。赤羽さんの現役時代のコーチで夫の周平氏（38）も監督を務める。大学時代は1998年、2000年には女子駅伝部を全国制覇に導き、社会人では世界でも活躍した〝レジェンド〟有紀子さんが最強のパートナーとともに〝日本一奪回〟に向けて走り出す。

有紀子さんは14年の大阪国際女子マラソン優勝後に引退。ホクレンのスポーツアンバサダーとして活躍してきたが、大学時代の恩師・鈴木監督の後を引き継ぐ夫・周平氏とともに、指導者として母校へと戻ってきた。

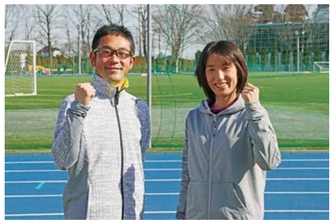
「もう一度強い母校を見てみたい。私は大学で成長させてもらった。全日本大学女子駅伝でテレビカメラの前を走ったことは大きな経験。選手たちにも感動を味わってもらいたい」

女子駅伝部では伝説の存在だ。真岡女子高時代は高校総体出場経験もなかったが、城西短大（のちに城西大に編入）に入学すると才能が開花。全日本大学女子駅伝で4年連続区間賞を獲得し、2度優勝。黄金時代を築いて見せた。ホクレン時代は北京五輪に出場し、11年世界陸上・大邱大会のマラソンでは5位入賞を成し遂げた。

母校は現在、全日本女子大学駅伝に23年連続24回出場中も、昨年は8位と上位からは遠ざかる。「まずは夫のサポートをする形でやる。女性の悩みもあると思うので、相談しやすい存在になれれば」と語り、「チーム内の力の差はあるが、体を絞ればいけるセンスのある子もいる」と期待を込めた。

もちろん目標は日本一だが、早急に結果を求めるわけではない。「私は結婚して食生活を変えたことで食卓もなくなり、ケガも少なくなった。学生時代は意識が低かった。4年間で当たり前のことができる選手を育てたい。まずは意識改革をして、そこからどう目標を持ってくれるか」と、まずは体づくりから始める考えだ。

有紀子さんと同じく大学OBの周平氏も同じ考えだ。05年の結婚を機にホクレンのコーチに就任。有紀子さん引退後は昨夏まで豊田自動織機でヘッドコーチを務めていた。監督就任については「大学から日本一を目指してバックアップするという話をいただきお受けした。実業団で学んだノウハウを学生達に伝えていけたら」と意欲を見せ、「実業団でやりたい選手がいれば一人でも多くそのステージに押し上げてあげたい」と夢を語った。



赤羽有紀子さん（右）と赤羽周平氏

JUから② 3年ぶり4回目のシード権獲得

第94回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）が1月2、3日に行われ、2年ぶり14回目の出場となった城西大学男子駅伝部は、山上り・5区での服部潤哉選手（3年）の4人抜きの快走や金子元気（3年）、山本竜也（4年）、大石巧（3年）らの力走もあって総合11時間12分16秒で7位入賞を果たした。3年ぶり4回目のシード権獲得だ。

レース後の報告会で、白幡駅伝競走（箱根駅伝）が1月2、3日に行われ、2年ぶり14回目の出場となった城西大学男子駅伝部は、山上り・5区での服部潤哉選手（3年）の4人抜きの快走や金子元気（3年）、山本竜也（4年）、大石巧（3年）らの力走もあって総合11時間12分16秒で7位入賞を果たした。3年ぶり4回目のシード権獲得だ。

櫛部静二監督は「8人の経験者がいることは非常にプラスになる。選手らがより競争をしてレベルアップを図れば、3位の可能性があると思っている。可能性を信じて努力していきたい」と話している。最学長は「城西大学が新しく変わろうという年に、こうした結果を出してくれて、非常にありがたい。来年もワンランク上げた形で頑張っていただきたい」と述べた。

レース後の報告会で笑顔を見せる選手たちと職員・関係者

Activity 文化・芸術・学術の話題ピックアップ

経営情報学部在学中に国家試験合格 2人の新・公認会計士

2017年の公認会計士試験で、城西国際大学の経営情報学部・会計ファイナンスコース早田ゼミナール（紀尾井町キャンパス）の2人が合格を果した。公認会計士試験は、司法試験とともに最難関の国家試験で、合格当時は4年生で在学中の「現役合格」は、本学の創立以来、初めてだ。赤石朋也さん（埼玉県立本庄高校出身）＝**写真右**＝と五十嵐寿樹さん（埼玉県立浦和商業高校出身）＝**写真左**＝で、合格までの2大関門である短答式試験は3年時に、論文式試験には4年時にパス。日本の代表的な4大監査法人の新日本監査法人、トーマツ監査法人へ就職した。お二人に話を聞いた。

■赤石朋也さん

高校では、あまり勉強しなかったですが、大学では、簿記をやりたい、という気持ちがありました。兄の友人が城西国際大学におり、その方が「城西国際の経営情報学部は簿記（会計学）が強い」と推薦してくれました。大学のオープンキャンパスにも参加し、応対してくれた先生から「簿記だけではなく、経済、マネージメントなど広く学べる」との説明を受け、入学しました。

公認会計士試験は、簿記・会計学・監査論・企業法・租税法などから問題が課せられます。大学での授業やゼミナールでは、例えば簿記にしろ、その歴史や社会的意味など深く学ぶようになっています。自習も大切です。ただ、それだけでは、公認会計士試験にはなかなか受かりません。試験の「傾向と対策」や受験テクニックを身に着ける必要があります。そこで授業が終了してから夕方に専門学校の2年半コース（週3回）に通いました。

試験に合格したから城西国際大学での4年間を振り返りますと、きめ細かい指導をしてくださった先生に恵まれ、授業などでもこれまで経験できなかった大切なことを学びました。30分でも時間があればいろんな本を読みました。スマホには、興味がありませんでした。

これからは、「考えて、判断する能力のある公認会計士」を目指したいです。城西国際大学の後輩にアドバイスできるのなら「環境が許す限り自分のやりたいことをやる。あきらめないで、全力で」ということです。

■五十嵐寿樹さん

母校の高校は、進学より就職する学生が多かったですが、城西国際大学に入学しました。その時は、公認会計士のことは頭にありませんでした。情報系なども含めて幅広い分野の勉強ができると思い、この大学を選びました。

大学2年が転機でした。簿記（会計学）の授業に出会い、学んでいるうちにその面白さがわかり、公認会計士になりたいと思うようになりました。それからは、週に3～4回、専門学校に通いました。1・5年コースです。大学の授業や自習をはさんで朝3時間、夕方3時間、専門学校で学んだこともあり、公認会計士の試験合格に必要なノウハウを取得しました。

短答式、論文式試験の両方とも1回でパスできました。専門学校での学びが大きかったと思いますが、なによりも城西国際大学で簿記（会計学）に出会ったことが合格への始まりです。「大学から公認会計士になるきっかけを与えてもらった」と感謝しています。

監査法人に入ってから目指す公認会計士像は、「不正を見逃さない、嘘をつかない」ということが第一です。そして、例えば自治体の監査に関して能力を発揮する、といった専門分野を持つ公認会計士になりたいです。

大学の後輩らには「考えることを大事に」といメッセージを送りたいです。与えられたものだけでは足りません。考えて自分で何かをつくり出すことです。考えること――いま大学時代を振り返ると、これが公認会計士試験に役立ったと感じます。

医務室から

「健康の話」――要注意！ 結核は現在の病気です

学生課・医務係　土肥和子

「結核」とは

明治から昭和20年代まで永い期間「国民病」として恐れられ、年間10万人以上の方が命を落としていました。当然死亡原因第1位でした。その後、医療の進歩と生活水準の向上により薬を飲めば完治する時代になりましたが、現在も年に2万人弱の新規感染者が発生し、2000人弱の方が命を落としています。結核は、現在の病気であり、注意が必要です。

感染経路は、咳やくしゃみによる「空気感染」です。

●感染までの経緯

結核菌が咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことでうつります。特に抵抗力のない、幼児、高齢者、病中病後の人などがかかりやすくなります。

しかし、感染しても、全員が「発病」するわけではありません。菌に対し、免疫力が抵抗し、発病しないように戦います。菌は、活発に動かず休眠状態となり、そのまま経過することもあります。逆に、免疫力のない人は、結核菌が活発に活動し、「発病」していきます。

●症状

咳、痰、微熱が続く、体重減少、食欲不振、寝汗をかくなどですが、主な症状がなく発病することもあります。

●予防

- **バランスの取れた食事**
- **十分な睡眠**
- **適度な運動**
- **喫煙しない**
- **定期的な健診（胸部レントゲン）**
  →大学の定期健康診断で1年に1回はチェック

●治療

結核と診断されても、6ヶ月～9か月間きちんと薬を飲めば治ります。結核の治療には、国の補助があります。詳しくは、保健所から説明があります。

早期治療が第一です。症状があるのに安易に過ごすと、多くの人に感染が広がります。

学生の義務である定期健康診断を受診し、感染予防に努めましょう。

平成30年度学生健康診断について

東　金

●4/3（火）対象学科：総合経営学科（BG）・国際交流学科（HK）

受付・健診時間	対象学科	性別
09:30～09:50	BG	女
10:00～11:00	BG	男
13:00～13:50	HK・2017短期	女
14:00～14:50	HK・2017短期	男

●4/4（水）対象学科：環境社会学科（CE）・医療栄養学科（PC）・メディア情報学科（XA）・別科

受付・健診時間	対象学科	性別
09:30～10:20	PC・CE	女
10:30～11:20	PC・CE	男
13:00～13:40	XA・在校生・別科	女
13:50～14:30	XA・在校生・別科	男

●4/5（木）対象学科：福祉総合学科（FF）・理学療法学科（FR）・国際文化学科（HL）・看護学科（NS）・大学院

受付・健診時間	対象学科	性別
09:30～10:30	FR・NS	女
10:40～11:10	FR・NS	男
13:00～13:50	FF・HL・大学院	女
14:00～15:30	FF・HL・大学院	男

紀尾井町

●4/3（火）対象学生：院生、BG2018

受付・健診時間	対象学生	性別
09:30～11:00	院生・交換留学生	男
11:00～12:40	院生・交換留学生	女
13:40～14:10	BG2018	女
14:20～15:30	BG2018	男

●4/4（水）対象学生：XA2018

受付・健診時間	対象学生	性別
09:30～11:00	XA2018	男
11:00～12:40	XA2018	女

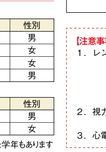
◆学部・学科によっては在学生の健康診断がすでに終了した学年もあります

観光学部

●4/3（火）

受付・健診時間	対象者	性別
09:30～09:50	教職員	男
09:55～10:05	教職員	女
10:10～10:55	TW2018-001～ TW2017-001～ TW2017-501～	女
11:00～12:00	TW2018-001～ TW2017-001～ TW2017-501～ EW2017	男
13:30～14:00	TW2016-001～ TW2016-501～	男
14:05～14:25	TW2016-001～ TW2016-501～	女
14:30～15:00	TW2015-001～ TW2015-501～ TW2014	女
15:05～16:05	TW2015-001～ TW2015-501～ TW2014・TW2013	男

[注意事項]
1. レントゲン検査…円滑に進めるためにTシャツの着用を守ること。特に女子は金具のついた物は、撮影に支障をきたしますので必ず外して検査を受けること。
2. 視力検査……メガネ使用者は持参し、コンタクトレンズは装着のまま受診のこと。
3. 心電図検査……ストッキングは脱いでください。



（編集）学校法人城西大学　広報センター　（発行）城西国際大学　総務課　（協力）スポーツ・ニッポン新聞社

2部昇格へ欧州遠征で強化

サッカー部

「選手主体のチーム目指す」（高須主将）

昨春、サッカー部習熟に就任した福井哲氏は、日本サッカー協会技術委員・ナショナルトレセンコーチなどを歴任した。前職のFC東京では、育成部長などをつとめ、選手、コーチの育成に手腕を発揮したサッカーの章越氏した理論家である。

福井監督率いるサッカー部の部員（マネージャー含む）は現在90人。新入生は35人を数える。今春、3月1日から11日間、欧州遠征があった。新2・3・4年生から参加し、オランダを拠点にベルギーなどを回り、欧州のアマチュアのトップレベルのチームとボールを蹴りあった（その模様は夏季号で詳報する）。

欧州遠征は、目標の関東大学サッカーリーグでの2部昇格を目指す強化策として位置づけている。千葉県大学サッカーリーグを勝ち抜き、その後の関東大会ら位以内に入れば、自動昇格となる。

福井監督は「昨年以ったチームとしてとら戦っらが課題だ。サッカーは判断のスポーツで、ゴールを奪い、ゴールを守るには選手の自走・主体性が求められる。自らアクションを起こせ、と選手に伝えたい」と話す。

広く美しい『RUNNE NAMIDO MONAI SASSI 2021』で元気に練習する選手たちで意欲雄大主将は「選手同士のコミュニケーション力を付け、選手が主体となったチームづくりを目指す」と意気込む。

高須雄大主将

福井 哲監督

ユニフォーム新調

福祉総合学部に在学中、サッカー部のマネージャーを務めた高円宮絢子先生も加わり、サッカー部の新しいエンブレムをつくる。ユニフォームも新調予定だ。

3年連続Jリーグ選手輩出

今春卒業した徳元悠平選手（DF・沖縄県立那覇西出身）が、JリーグディビジョンJ3（J3）のFC琉球に2018年シーズンより加入した。2016年シーズンにジェフユナイテッド市原・千葉に加入した大野哲煥選手、2017年シーズンにガイナーレ鳥取に加入した加藤潤也選手に続き、3年連続のJリーグ選手輩出となる。

■プロフィール

部　長：松田世治
監　督：福井　哲
コーチ：大塚雅治
コーチ：村井慎二
GKコーチ：岸川義隆
外部コーチ：宗谷裕章
主　将：高須雄大
（埼玉県立浦和北・浦和レッズユース）
副主将：前濱和道（沖縄県立前原）
副主将：平野皓巳（長崎県・海星）
副主将：峰　恭斗（佐賀県立佐賀東）
副主将：佐々木良
（佐賀県立鳥栖商業・サガン鳥栖U-18）

川淵三郎杯

「このスポーツパークから日本代表に」期待（川淵氏）

第5回 川淵三郎杯 城西国際大学久年サッカー大会が4月17日に東金キャンパス（高円宮殿）で記念スポーツパークで開かれた。

この大会は、スポーツを通じて次代を担う青少年の健全な育成に寄与し、スポーツを楽しみながら親睦と交流を図り、サッカーの普及・発展に努め、地域のスポーツ振興に貢献することを目的として開催している。山武郡市の少年サッカーチームが集い、川淵三郎杯をめざして熱戦を繰り広げた。

日本サッカー協会高顧問の川淵三郎氏は試合後のインタビューで「子どもたちは寒い中でも元気が良かった。将来、日本代表選手を目指して頑張ってほしい。このスポーツパークで育った選手から日本代表選手が出たら、高円宮殿下もお喜びになると思う。今後の大会の発展を期待している」と選手を激励した。

■試合結果

順位	高校名
優　勝	城西JFC（東金市）
準優勝	横芝FC（横芝光町）
第3位	ときがねFC（東金市） 増穂FC（大網白里市）

■出場チーム

城西JFC／東金東SC／ときがねFC／MASAKI　FC／FCウィング／FRIENDS／増穂FC／みずほFC／FC蓮沼BB／クレシエテ成東FC／美杉FC／九十九里JFC／横芝FC／芝山JFC（順不同）

鴨川コーナー

軟式野球部

「関東で優勝し全日本選手権に」（河上監督）

「左右のエースが強み」（岡崎主将）

2010年4月に創部された。河上國男監督を慕い、その出身地の四国から安房鴨川キャンパスに来た選手が多い。四国といえば高校野球の盛んな地域。入部して来る選手たちの技能水準も高い。もちろん他の地域からも留学生も入部大歓迎である。

最近の戦績では、昨年度の東関東大学軟式野球連盟春季リーグ戦において5戦全勝、東リーグ1位で春季代表決定戦へ進出。代表決定戦準決勝では国際武道大学にケーを勝利したが、決勝戦では帝京大学に1－4で敗れ全日本選手権への出場を逃した。

秋は奮起し、東関東大学軟式野球連盟秋季リーグ戦の決勝戦で、日大経済学部を8回コールドで破った。3年ぶりの優勝を果たし、第38回東日本大学軟式野球選手権大会に出場した。

東京・八王子の「タイワハウスタジアム八王子」での初戦は、優勝候補の一角と目される作新学院大。結局、両校は1対1で譲るが、延長戦にもつれ込んだ。延長戦は、試合をスムーズに決着させるために採用された「タイブレーク方式」無死満塁から始まり、先攻のJIUは、3点を挙げた。しかしその裏、四球にエラーが重なり、逆転負け。惜敗した。

新チームは、21人。うち8人が新入生だ。この第38回東日本大学軟式野球選手権大会に出場した選手の多くが新チームに残った。投手陣では、昨年度投げ抜いた右腕の黒川万馨（3年・松山商業出身）と左腕の金子拓海（3年・三条商業出身）の両エースが残ったのが心強い。

打撃陣は、重松諭（2年・今治北）、主将の岡崎大地（3年・宇和島商）、松永誠人（2年・修徳）らが中心だ。

新入生も河内海斗（松山商）、岩佐瑛一（松山城南）、高橋大河（志学館）、石家健哉（大洲農業）、田坂倉平（今治北）、上田祐太（新潟商業）、浅野宇海（三条商業）といった強打者・好打者が揃った。池内は、昨年の夏の高校野球選手権大会予選（硬式）で本塁打を放つなど大型のスウィングとして期待も高い。投手では、二宮琴宜（全和）が目立つ。

軟式野球部の選手たち

■試合結果

順位	高校名
優　勝	城西JFC（東金市）
準優勝	横芝FC（横芝光町）
第3位	ときがねFC（東金市） 増穂FC（大網白里市）

■出場チーム

城西JFC／東金東SC／ときがねFC／MASAKI　FC／FCウィング／FRIENDS／増穂FC／みずほFC／FC蓮沼BB／クレシエテ成東FC／美杉FC／九十九里JFC／横芝FC／芝山JFC（順不同）

岡崎大地主将の話

新チームは自主性を大事にしている。一人ひとりがよく考えながら野球に取り組めた。左右のエースが残ったことが何よりの強みだ。

岡崎大地主将

河上國男監督の話

投手力が良く、有力新人も入ってきた。昨年より戦力アップしている。いままでのチームで一番、力がある。季リーグ戦で優勝し、全日本選手権に出場させたい。

河上國男監督

第5回 水田杯中学校野球大会

一宮町と包括連携協定――20年東京五輪に向け

本学サーフィン部など交流期待

第5回水田杯中学校野球大会が、3月3・4日の両日、鴨川市の城西国際大学観光学部総合グラウンドなど4会場で行われ、千葉県内10市町の中学校11チームが参加した。開会式では、プロ野球で活躍した石毛宏典・特任教授（大会委員長）が「観や指導者、大会運営者への感謝の気持ちを、野球を通じてみせてほしい。存分に戦ってください」とあいさつした。

試合は初日がリーグ戦、2日目はトーナメントで行われ、成田市立下総中・大栄・公津の杜中の合同チームが優勝した。準優勝は、勝浦市立勝浦中、第3位は、大多喜町立大多喜・大多喜西中（合同チーム）▼いすみ市立大原中。

JIUは、地域スポーツの育成を念頭に、春に「水田杯中学校野球大会」、夏に「水田杯少年野球大会」を開催。鴨川周辺の多くの野球チームが参加し、「風物詩」として地元に溶け込んでいる。軟式野球部が全面的に協力し、試合進行などを円滑に行っている